



邑楽町立邑楽南中学校 学校だより

おうなん

令和3年5月17日(月)

発行 邑楽南中学校

第3号

mail:oramijh@muse.ocn.ne.jp



郡中体連春季大会が開催されました！

昨年度は新型コロナによる臨時休校で郡春季大会が中止でしたが、今年度は水泳(6/5実施予定)以外の種目は全て終了することができました。生徒の安全を考えて無観客で開催する会場もあったので、お子さんの活躍を見られず残念に思う保護者の方やご多用の中会場への送迎をした方もいらっしゃると思いますが、お陰様で無事に開催できました。本当にありがとうございました。

<表彰> ☆は県大会出場 []は表彰なし

○郡春季バスケットボール大会 男子準優勝☆

○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○

○郡春季ソフトテニス大会 男子団体準優勝

○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○

○郡春季ソフトテニス大会 男子個人

優勝 ○○ ○○・○○ ○○☆

○郡春季バドミントン大会 男子団体準優勝☆

○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○

○郡春季バドミントン大会 男子個人シングルス

準優勝 ○○ ○○☆

[第5位 ○○ ○○☆]

○郡春季バドミントン大会 男子個人ダブルス

準優勝 ○○ ○○・○○ ○○☆

[第6位 ○○ ○○・○○ ○○☆]

○郡春季バドミントン女子個人シングルス

[第8位 ○○ ○○☆]

○郡春季バドミントン女子個人ダブルス

第7位 ○○ ○○・○○ ○○☆

第8位 ○○ ○○・○○ ○○☆

第9位 ○○ ○○・○○ ○○☆

※体操競技の県春季大会は中止になりました。

○郡春季体操競技大会 女子団体優勝☆

○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○

○郡春季体操競技大会 女子個人総合

第1位 ○○ ○○☆

第3位 ○○ ○○☆

第4位 ○○ ○○☆

第5位 ○○ ○○☆

○郡春季体操競技大会 女子個人種目別

跳馬 第1位 ○○ ○○☆

跳馬 第3位 ○○ ○○☆

平均台 第1位 ○○ ○○☆

ゆか 第1位 ○○ ○○☆

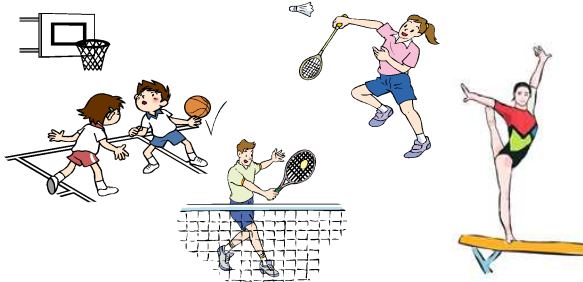
ゆか 第2位 ○○ ○○☆

○郡春季体操競技大会 男子団体準優勝

○○ ○○・○○ ○○
○○ ○○・○○ ○○

○郡春季体操競技大会 男子個人種目別

跳馬 第3位 ○○ ○○☆



3年生の修学旅行は延期になりました

昨年度末より第3学年修学旅行を北陸方面に変更し、6月1日(火)~3日(木)の2泊3日で計画しておりました。しかし、今月に入り、本県が警戒度4になるだけでなく、主な滞在地である石川県も県独自の緊急事態宣言を発出し、兼六園をはじめとする観光地が5月31日まで閉鎖されている状況です。6月以降も延期となる可能性があるため、本校内で職員会議や旅行業者との話し合いを重ね、教育委員会と検討をした結果、生徒たちの安全を第一に考え、下記のとおり修学旅行を延期することとしました。今後の学校行事についても、感染状況等を見ながら、教職員や関係機関と検討して実施、変更・縮小、延期、中止等を決定していきます。

感染症対策と充実した授業づくりの両立を目指して

始業式後数日で、学級の係や委員会等の様々な分担決めを行いました。その後、各教科の授業が始まりましたが、年度の初めての授業は、教科の特性に添った授業の進め方・受け方、予習・復習の仕方等を確認する「ガイダンス」的なものでした。今年度も、「道具を使う場合は消毒をしてから使う」「対面で会話をする場合はフェイスシールドを着用する」といった、新型コロナウイルス等の感染症対策のための説明も行いました。授業が本格的に始まりましたが、ゴールデンウィークの途中で群馬県が警戒度4となり、感染症対策予防のため、リスクの高い活動は控えています。生徒たちは、ある意味慣れた様子で感染症対策をしながら授業に参加しています。



フェイスシールドを着用し、班員の英語クイズに答える1年生



電子黒板からの音声内容を聞きながら、課題に取り組む3年生

子育て&親育て(3)

人生には数え切れないほどの選択があり、どの選択肢を選ぶかによって、その後の生き方が変わります。例えば、中学・高校・大学受験、就職、結婚、子育て…挙げればきりがありません。保護者の中には、「あの時、あの人(仕事)を選ばなかったら、邑楽町にいなかったかも」という方もいるのではないのでしょうか。

多くの選択場面で違う選択肢を選んでいたら、今とは違う人生を歩むかもしれないとなると、親としては「いい選択肢」を選んでほしいと思うもの当然です。親がアドバイスや経験談を話すことはいいですが、「これにきなさい」と親ばかりが決めっていると、親の人生になってしまいます。親が有益な話をたくさんする中で、子ども本人が自分の意思で選択できるようにしてほしいと思います。

息子の友人のAくんの場合、本人の夢を親が猛反対し、東京の私立大学に4年間通わせました。しかし、Aくんはどうしてもその夢を諦めきれず、大学卒業後の今春から専門学校に通い始めました。悩みを聞いていた息子は「表情がよくなった」と言っていました。



朝会もオンラインで

5月10日(月)の朝会は、オンラインで行いました。その日から教育実習が始まるので、3名の実習生の先生にあいさつと自己紹介をしていただきました。

その後、校長先生のお話があり、生徒たちは電子黒板の映像を静かに見っていました。途中、クラスによっては電波の状態が悪く、映像が止まってしまうトラブルもありましたが、教室と体育館の移動時間もなくなり、生徒の負担を少なくすることもできました。



校長室で話をする校長先生(左)と教室で映像を見る生徒(右)

